



タカサゴソウ	<i>Ixeris chinensis</i> (Thunb.) Nakai subsp. <i>strigosa</i> (H.Lév. et Vaniot) Kitam.	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		キク科
選定理由	西濃地方での生育記録があるが、最近は生育情報がない。	写真(高橋弘) 
形態の特徴	茎は高さ30-50cm。根出葉は長さ6-20cm、幅 cm。頭花は舌状花のみからなり、直径約2cm、総苞は長さ 。舌状花は紫色を帯びた白色。	
生態的特徴	乾いた草原や河川敷に生える。花期は4-7月。	
分布状況	朝鮮にもあり、日本では本州から九州に分布する。岐阜県では美濃地方西部に分布する。	
減少要因	開発と河川改修による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘